

## 令和5年度 事後評価シート

**【事務事業シート（政策的経費）】**

1

当初

事 項	性暴力被害者支援センター運営事業費										予算主管課		男女参画・子育て支援課			
事 業 概 要	性暴力被害者が心身に受けた被害の軽減及び被害による影響からの早期回復を図るため、専門家による必要な支援を行うワンストップ支援センターを運営する。										始期		H30			
											終期					
K P I	えひめ性暴力被害者支援センターへの相談件数															
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	時点・期間	R5年1月		時点・期間	R 5年度		時点・期間	R 6年度		時点・期間	R 7年度		時点・期間	R 8年度		
	現状値	469 件		目標値	469 件		目標値	469 件		目標値	469 件		目標値	469 件		
				実績値	575 件		実績値	件		実績値	件		実績値	件		
				達成率	122.60 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%		
コ ス ト			最終現計予算額	18,108 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円			
			決算額	17,432 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円			
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 被害状況を打ち明けづらい性暴力において、センターへの相談件数が122%増加していることは、センターが安心して相談できる場所として認知され、理解が広がっているもの捉えている。  総括（事業最終年度の場合、要記入。）													
	見直し方向性		維持		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績はほぼ想定通りの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは達成すると思われることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。											

2

当初

事 項	愛媛母子生活支援センター運営費										予算主管課		男女参画・子育て支援課			
事 業 概 要	配偶者のない女子又はこれに準ずる理由のある女子とその監護すべき児童を保護し、自立に向けての支援を図る。										始期		S24			
											終期					
K P I	母子生活支援施設入所世帯数（月初入所世帯数平均）															
	KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	時点・期間	R5.2		時点・期間	R 5年度		時点・期間	R 6年度		時点・期間	R 7年度		時点・期間	R 8年度		
	現状値	9.5 世帯		目標値	9.5 世帯		目標値	9.5 世帯		目標値	9.5 世帯		目標値	9.5 世帯		
				実績値	11 世帯		実績値	世帯		実績値	世帯		実績値	世帯		
				達成率	86.36 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%		
コ ス ト			最終現計予算額	46,039 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円			
			決算額	46,015 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円			
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） R4年度末までに県内母子生活支援施設が複数廃止されているほか、全国的にも母子生活支援施設の数が増加しており、DV被害による県外からの入所者が増加したことから、KPI未達成となった。  総括（事業最終年度の場合、要記入。）													
	見直し方向性		維持		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））  県内各相談支援機関で受けたDV被害相談件数は高止まりの状態にある一方で、DV被害等の複雑な事情を抱える母子を同時に保護できる施設は現状限られていることから、県立母子生活支援施設として、引き続き入所者への支援を実施していく。											

